

# □ KING JIM

# お知らせボイス

お知らせボイス GV10

## 取扱説明書

このたびは、お知らせボイス GV10をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は保証書を兼ねています。すぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

● 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。  
● 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。  
この製品は、日本国内専用です。  
● 本書の作成には万全を期していますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。  
● 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KING JIM、お知らせボイスは、株式会社キングジムの商標または登録商標です。



**修理に出されるときは**  
保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。  
なお、当社の都合により代替品に交換することで修理に代えさせていただく場合がございます。

**お問い合わせ**  
アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム製品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通) **ナットクのパトナー**  
**お客様相談室 ☎0120-79-8107**  
FAX からの場合 **0120-79-8102**  
携帯電話からの場合 **0570-06-4759** ※通話料お客様負担  
受付時間：平日(月～金曜日) 午前 9:00～午後 5:00

**株式会社キングジム**  
東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031  
https://www.kingjim.co.jp/

## 安全上のご注意 必ずお守りください!

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

表示された指示内容を守らずに、誤った使いかたによって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

**危険** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。

**警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

**注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

- 禁止** してはいけない「禁止」の内容です。
- 強制** 必ず実行していただきたい「強制」の内容です。

<b>危険</b>
<ul style="list-style-type: none"><li><b>高温</b>になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下)での本製品の使用や充電、放置、保管をしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。</li><li><b>釘</b>を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。</li><li><b>本製品</b>を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。</li><li><b>水</b>やお湯の中につけたり、ホースやバケツなどで直接水をかけたりしないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。</li></ul>

フリーダイヤル(全国共通) **ナットクのパトナー**  
**お客様相談室 ☎0120-79-8107**  
FAX からの場合 **0120-79-8102**  
携帯電話からの場合 **0570-06-4759** ※通話料お客様負担  
受付時間：平日(月～金曜日) 午前 9:00～午後 5:00

**株式会社キングジム**  
東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031  
https://www.kingjim.co.jp/

<b>警告</b>
<ul style="list-style-type: none"><li><b>別売</b>のACアダプタ(AS0510JD)以外、使用しないでください。またACアダプタご使用の場合は、屋外や水気のあるところでは使用しないでください。故障したり、過熱、発熱するおそれがあり、火災・感電の原因となります。</li><li>ACアダプタを使用する場合は、電池を入れたままにしないでください。故障の原因となります。</li><li>ACアダプタは、指定された電源電圧以外では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。</li><li>ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。</li><li>電池の内容液が目に入ったときは、失明などの障害の恐れがありますので、こすらずにすぐに大量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。</li><li>電池の+と-を逆にして使用しないでください。ショートで異常反応を起こし、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。</li><li>指定している電池以外は使用しないでください。</li><li>電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。</li><li>使用中に万が一、煙が出る、においがする、異常な音がするなどの異常な状態がみられる場合は、使用を中止してください。ACアダプタを接続している場合は、ACアダプタを抜いてください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱・発煙の原因となります。</li><li>多くの人が行き交う場所で使用する場合は、正しい方法で設置してください。間違った設置をすると本体が落下し、けがををする恐れがあります。本体落下による責任は一切負いませんのでご注意ください。</li></ul>

- 注意** 人感センサー部分に汚れや水滴が付着した場合は、やわらかい布などで拭いてください。人感センサーが誤作動をおこしたり、動作しなくなったりしてしまいます。
- 振動を感じやすい場所に設置すると誤作動を起こす場合があります。振動の起きにくい場所にしっかりと設置してください。
- 本製品に、磁気記録媒体(フロッピーディスク、磁気カード、磁気テープ、プリペイドカード、キップ、MO、MD など)を近づけないでください。本製品のマグネットにより磁化されて使用できなくなることがあります。
- 万が一、本製品または本製品の一部が破損した場合、そのまま使用せずすぐにご使用を中止してください。

**Q1. 人がいるのに人感センサーが反応しない**  
A1. 電源スイッチがONになっているかご確認ください。  
電池が入っているか確認し、電源スイッチがOFFの場合はONにしてください。

A2. 電池が入っていない、電池残量が少ないなどの電源周辺を確認してください。電池残量が少ない場合は本体前面LEDが点滅します。  
すみやかに新しい電池と交換してください。

A3. センサーを柔らかい布で乾拭きしてから、本体前面LEDの動作を確認してください。

A4. センサーの感知範囲をご確認ください。  
詳しくは、裏面「人感センサーについて」の項目をご覧ください。

**Q2. 「音声が出ない」や「音が小さい」現象になる**  
A1. 電源スイッチがONになっているかご確認ください。  
電池が入っているか確認し、電源スイッチがOFFの場合はONにしてください。

A2. 電池残量が少なくなると正常な動作ができなくなります。  
新しい電池と交換してください。

A3. 音量調整つまみが最小(=ミュート)になっていませんか。もしくは最小に限りなく近いと、音量が非常に小さくなります。音量設定を確認してください。

A4. 録音時の音声データが小さすぎる可能性があります。マイクに近づいて、はっきりした声で録音したり、音声データを出力する端末のボリューム設定を確認してください。

## 取扱い上のご注意

本製品は、連絡・報知用であり、生命救助、事故、犯罪防止を目的とする機器ではありません。死亡、傷害、犯罪などの被害における責任は負いかねますのであらかじめご了承ください。

- センサーの感知範囲を素早く通り過ぎたり、センサーの真正面から近づくと、センサーが感知しない場合があります。
- 使用環境温度が動作環境の温度範囲を超えると、感知性能が落ちたり、誤動作する場合があります。
- 直射日光の当たる場所での使用はおやめください。
- 電池の容量が少なくなると正常に動作しない場合があります。
- センサーに衝撃が加わると変形や損傷により、感知性能が落ちたり、動作不良をおこしたりする場合があります。
- 本製品が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン/シンナー/アルコール/洗剤などを用いると外装が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 本製品は完全防塵・防水仕様ではありません。電池カバー、ACアダプタ差し込み口カバーが完全に閉まりロックされた状態、かつ乾電池使用時のみで、IP54等級相当の防塵・防水となっています。  
※IP54等級とは、機器の正常な作動に支障をきたしたり、粉塵が内部に侵入しない程度の粉塵からの保護、またあらゆる方向から約10ℓ/分の水を10分間注水することに対して、本体機能を保護するものです。
- 本製品が濡れた状態でACアダプタに接続して使用しないでください。破損するおそれがあります。
- 次のことはしないでください。故障の原因となります。
  - ・お湯や水の中に入れない
  - ・多量の水をかけない
  - ・強い水しぶきをかけない
  - ・お湯、石けん、洗剤、入浴剤をかけない
  - ・風呂場など水がかかる場所や湿気の多い場所では、電池カバーを開閉しない
  - ・湿気の多い風呂場などには長時間放置しない
- 壁掛けやマグネットでの設置の際は、故意に強い衝撃を与えると落下するおそれがあります。正しい方法で設置をしてください。
- 精密機器ですので、取扱いにご注意ください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電池を外してください。

電源 単3形アルカリ乾電池 × 6本(別売)  
ACアダプタ(別売)

電池寿命 約6ヵ月(人感センサーONかつ音量「中」の状態で、10秒の音声を1日当たり30回センサー感知時)  
※使用条件により異なります。

感知距離 本体に向かう時：最大約5m  
本体の正面を横切る時：最大約16m  
※使用環境により異なります。

感知角度 水平方向：100°  
垂直方向：80°  
※使用環境により異なります。

動作環境 温度：5～35℃  
湿度：30～80% ※非結露

保存環境 温度：-10～55℃  
湿度：5～80% ※非結露

外形寸法 本体 約W221×H100×D56mm  
(メッセージボードは除く)  
メッセージボード：約W220×H128×D3mm  
(内寸寸法約W208×H113mm)

質量 約460g(電池、メッセージボード除く)  
防塵防水性能 IP54相当(単3形アルカリ乾電池使用時のみ)

セット内容 天面溝シリコンカバー  
人感センサー調整カバー(4種)  
メッセージボード

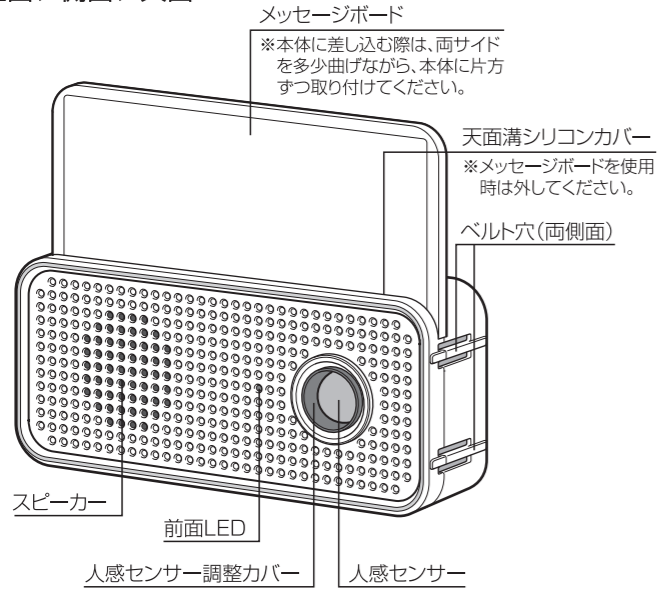
ライン入力ケーブル(50cm)  
取扱説明書(保証書付き)

オプション品 ACアダプタ(AS0510JD)(別売)  
お知らせボイス専用スタンド(GVS1)(別売)  
ピッチ1.5mm

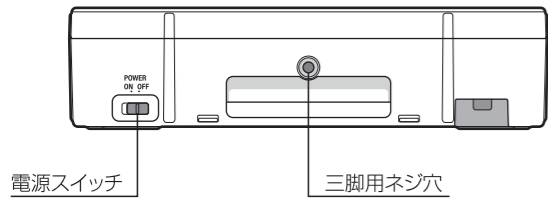
各種ネジ穴 固定用ネジ穴：M10サイズ、深さ約16mm、  
三脚用ネジ穴：1/4インチサイズ、深さ約12mm、  
1/4-20UNC

## 各部の名称と機能

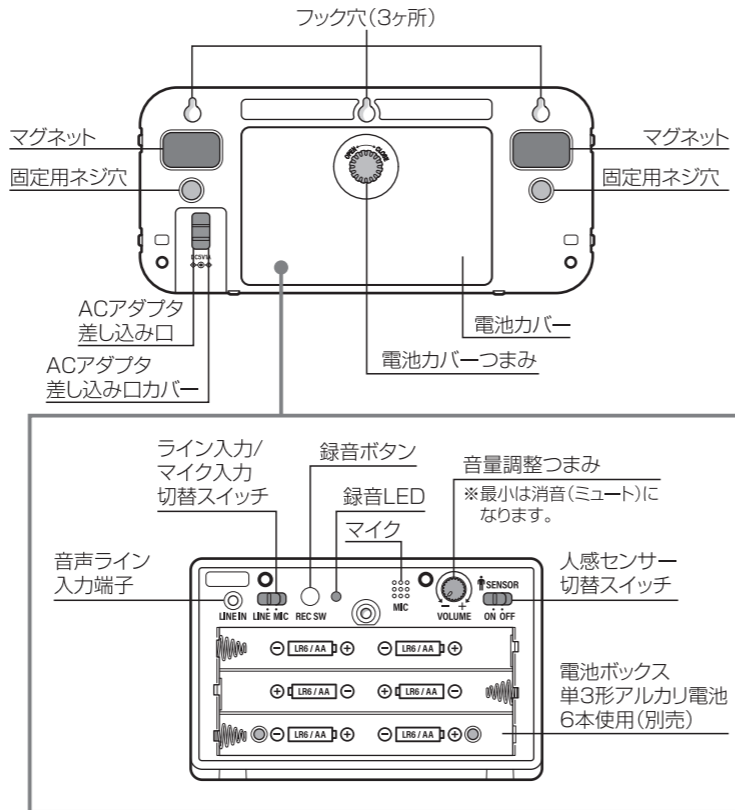
### ● 正面、側面、天面



### ● 底面



### ● 背面

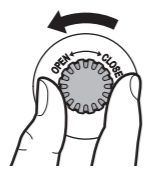


## 電池の入れかた

- 1 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- 2 電池カバーつまみを回し、電池カバーを開けます。

### !! ご注意 !!

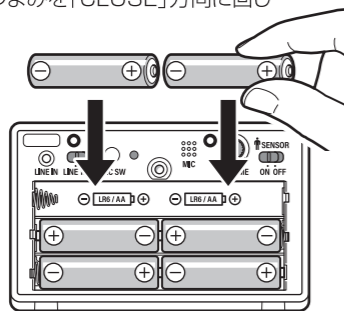
- 電池カバーつまみは、電池カバーから外れない仕様になっています。「OPEN」方向にしっかり回し切ってください。



- 3 +と-の極性表示に合わせて、単3形電池(別売)6本セットし、電池カバーを閉め、電池カバーつまみを「CLOSE」方向に回します。

### !! ご注意 !!

- 閉める際には、電池カバーつまみを「CLOSE」方向にしっかり回してください。防塵防水の効果がなくなってしまいます。



## 本体前面LEDの点灯について

- 電源オン時 ..... 3回短く点滅
- 人感センサー反応時 ..... 5回ゆっくり点滅
- 低電圧時 ..... 電圧が6V(±0.5V)以下になると点滅開始し、電源が無くなるまで点滅します。電池残量が尽きた場合(電圧は約4.8~5.5V)、点滅が終わります。

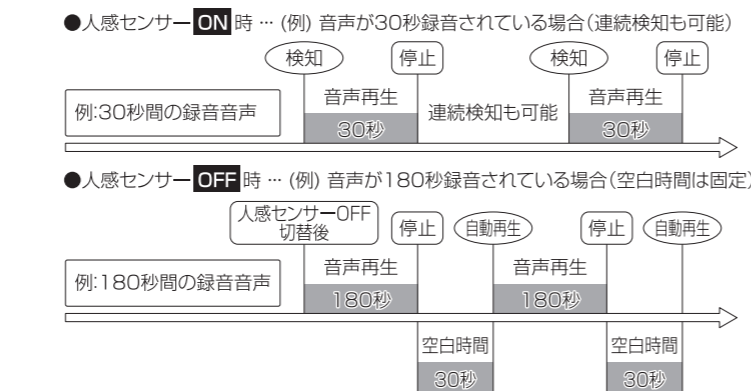
## 使用イメージ



※本製品を長時間使用しない場合は、電源をOFFにしてください。

## 音声再生時間

本製品は最大180秒の音声録音/再生が可能です。また人感センサーのON/OFFの切替もおこなうことができます。使用状況に合わせてご利用ください。



※人感センサーOFF時は空白時間(30秒)が必ず入ります。  
※人感センサーOFF時は電池寿命が短くなりますので、ACアダプタ接続による使用を推奨します。

## 録音方法

録音の方法は2通り(本体マイク/ライン入力)の方法があります。(録音音声が流れていなしに録音ボタンを5秒間長押しして、録音内容を消去できます。)

### 【本体のマイクに直接音声を録音する場合】

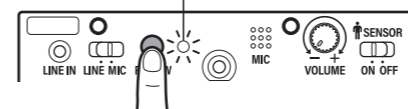
- 1 本体底面の電源スイッチをONにします。
- 2 電池カバーを取り外し、ライン入力/マイク入力切替スイッチをマイク入力側(右)にします。
- 3 録音ボタンを1回押すと右横にある録音LEDが短く6回点滅します。その後LEDが点灯しますので、マイクに向かって直接音声を録音します。



### !! ご注意 !!

- 録音時はボタンを長押しする必要はありません。
- 1度録音している音声は、録音ボタンを押すと消去され、復元できません。

ビカッビカッビカッ と6回点滅し、点灯に変わったら音声録音開始



- 4 録音を終了する場合は、再度録音ボタンを押します。録音が終了すると、録音LEDが消灯します。

### !! ご注意 !!

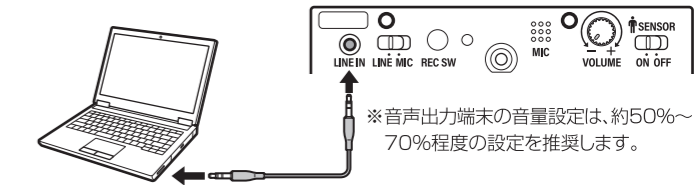
- 録音可能時間は最大180秒となります。170秒を超えると録音LEDが短く点灯し、180秒で自動的に録音が終了します。

- 5 録音が完了していることを確認のうえ、ご使用ください。

### 【本体とパソコンをライン入力ケーブル接続して録音する場合】

録音する音声データは、音声テンプレートストリーミングサイト ([https://kingjim.jp/gv10\\_voice/](https://kingjim.jp/gv10_voice/))からも無料でストリーミング再生ができます。スマートフォンにイヤホンジャックが搭載されている場合は、スマートフォンからアクセスし、録音することも可能です。

- 1 本体底面の電源スイッチをONにします。
- 2 電池カバーを取り外し、ライン入力/マイク入力切替スイッチをライン入力側(左)にします。
- 3 付属のライン入力コードを音声ライン入力端子とパソコンなどの音声出力端子(ヘッドホン端子)に接続します。



- 4 録音ボタンを1回押すと右横にある録音LEDが短く6回点滅します。その後LEDが点灯しますので、パソコンなどの音声出力端末から音声を再生し、録音します。

### !! ご注意 !!

- 録音時はボタンを長押しする必要はありません。
- 1度録音している音声は、録音ボタンを押すと消去され、復元できません。

- 5 録音を終了する場合は、再度録音ボタンを押します。録音が終了すると、録音LEDが消灯します。

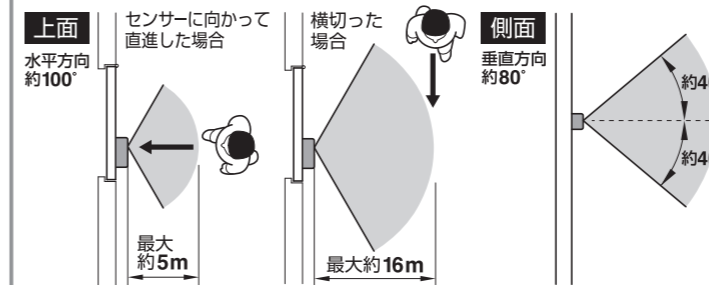
### !! ご注意 !!

- 録音可能時間は最大180秒となります。170秒を超えると録音LEDが短く点灯し、180秒で自動的に録音が終了します。

- 6 録音が完了していることを確認のうえ、ご使用ください。

## 人感センサーについて

本製品は、人感センサーを使用しています。本製品を床から1.6m程度の高さに設置した場合の感知距離および角度は下の図をご確認ください。設置環境によって、感知距離および角度は変化しますので、ご注意ください。



- 1) 人感センサーは感知範囲内の赤外線が発生源の動きを感知するセンサーです。そのため、人体以外にも下記のような赤外線の動きを感知することがあります。
  - ＜本製品が誤動作しやすい可能性のある場面＞
  - ・太陽の光、車のライト、白熱灯などの遠赤外線がセンサーに直接当たったとき
  - ・小動物(犬、猫、ネズミなど)が通過したとき
  - ・室内の暖房、冷房、加湿器などの設備による検査範囲内の温湿度が急激に変わるとき
- 2) 人感センサーは感知範囲内でも赤外線の動きを感知できない場合があります。
  - ＜本製品が動作しない可能性のある場面＞
  - ・周囲の気温と人の体温の差が近いとき(夏の高温時や寒冷時に外気で冷やされたコートを着ているときなど)
  - ・センサーと検査体の間にガラスやアクリルなど遠赤外線透過しにくい材質があるとき
  - ・検査範囲内の熱源がほぼ動かない時、あるいは高速移動するとき
  - ・センサーに埃などが付着しているとき

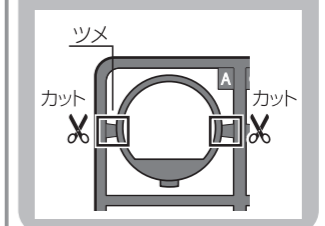
## 人感センサーの検知範囲を調整する

人感センサーで検知させたくない範囲がある場合、人感センサー調整カバーを取り変えることによって、検知範囲を調整することができます。標準のカバー(購入時本体にセット済み)のほかに、4種類のカバーを付属しています。カバーは、本体にはめ込むだけで簡単に装着ができます。センサーの範囲を物理的に塞ぐことができますので、使用環境に合ったカバーを適切な方向で取り付けてください。

カバーの種類	検知範囲の目安※
カバー-A	片側を検知させない場合
カバー-B	片側を検知させない場合
カバー-C	片側を検知させない場合
カバー-D	両側を検知させない場合

### !! ご注意 !!

- カバーを切り取る際は、下記枠部分をカットしてください。カバーのツメ部分をカットしないでください。



※イラストはイメージです。使用環境によって、人感センサーの感知距離および角度は変化します。